

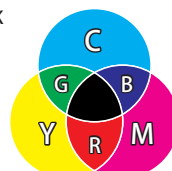
Illustrator 研修

新規ドキュメントの作成

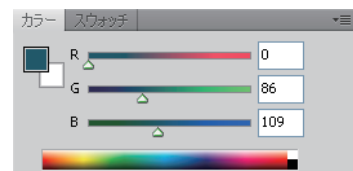
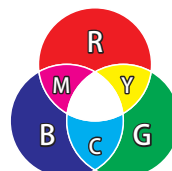
- ① メニューから「ファイル」→「新規」
(ショートカットキー **Ctrl+N**) を選択。
- ② ダイアログボックスで新規ドキュメント
プロファイル「プリント用」を選択してから
カスタマイズを行う。
 - ・アートボードの数は「1」。
 - ・サイズは「A4」横をクリックして選択。
 - ・裁ち落としは全て 0mm を選択。
 - ・詳細オプションを表示させる。
カラーモード「CMYK」、
ラスタライズ効果「高解像度 (300ppi)」
であることを確認。
- ③ [OK] をクリックする。



CMYK



RGB

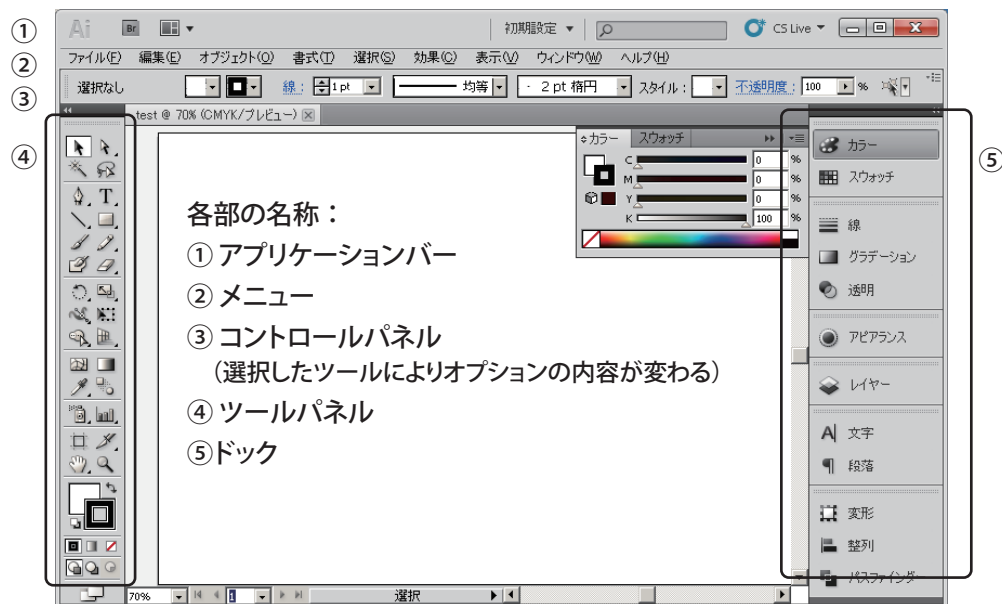


Illustratorとは

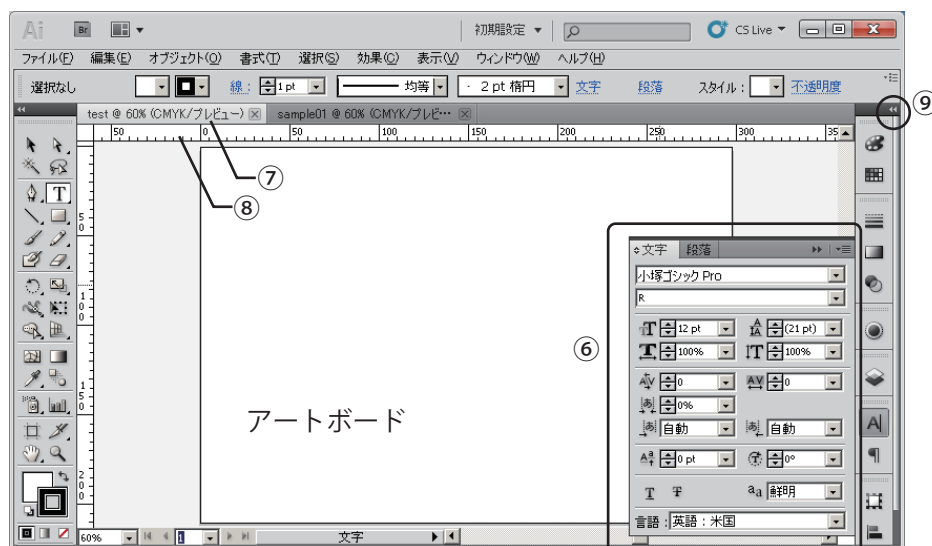
Illustratorは、Adobe Systems社のドロー系グラフィックソフトウェア。
商業印刷やグラフィックデザインなどにおける、商業制作でのプロの標準ツールと言える存在。

初期設定後、新規ファイルを開いた状態

ツールパネルのアイコン一覧は、巻末資料を参照のこと。



複数ファイルを開き、定規を表示した状態



- ⑥ パネル
- ⑦ タブ付きドキュメントウィンドウ
- ⑧ 定規 (ルーラー)
- ⑨ ドックのアイコンパネル化ボタン

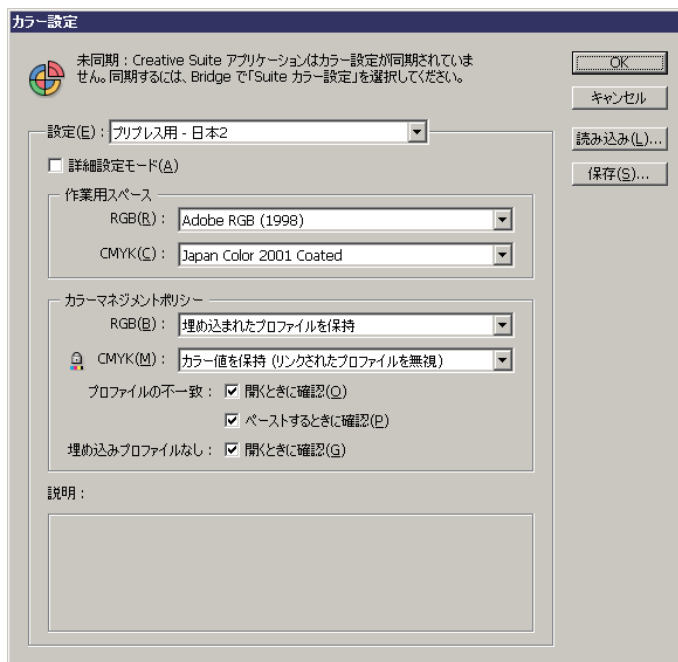
パネルのカスタマイズ

ドックによく使うパネルのみを表示させ、使用頻度が低いもの、不要なものは非表示にする。
表示されていないパネルを使いたいときには、「ウィンドウ」メニューで再表示・設定が可能。

カラー設定

「編集」→「カラー設定」を選択し、「プリプレス用 - 日本 2」を選択。

本研修では、紙媒体と Web 両方への展開を想定し、色域が広く豊かな色を再現する Adobe RGB を使用する。

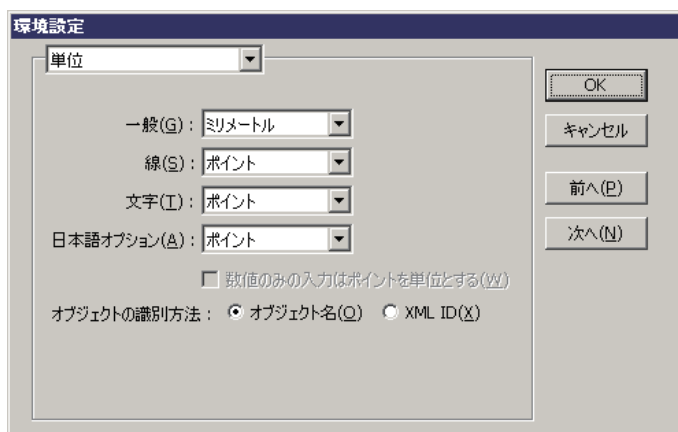


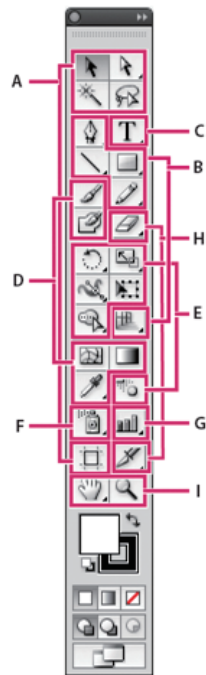
単位設定

「編集」→「環境設定」→「単位」を選択。

「一般」の単位を「ミリメートル」に、他を「ポイント」にする。

Web用データを作成する時は、「ピクセル」に変更して扱う必要がある。



**A 選択ツール**

- 選択ツール (V)
- ダイレクト選択ツール (A)
- グループ選択ツール
- 自動選択ツール (Y)
- なげなわツール (Q)
- アートボードツール (Shift+O)

B 描画ツール

- ペンツール (P)
- アンカーポイントの追加ツール (+)
- アンカーポイントの削除ツール (-)
- アンカーポイントの切り換えツール (Shift+C)
- 直線ツール (¥)
- 円弧ツール
- スパイラルツール
- 長方形グリッドツール
- 同心円グリッドツール
- 長方形ツール (M)
- 角丸長方形ツール
- 楕円形ツール (L)
- 多角形ツール
- スターツール
- フレアツール
- 鉛筆ツール (N)
- スムーズツール
- パス消しゴムツール
- 遠近グリッドツール (Shift+P)
- 遠近図形選択ツール (Shift+V)

C 文字ツール

- T 文字ツール (T)
- エリア内文字ツール
- パス上文字ツール
- 文字 (縦) ツール
- エリア内文字 (縦) ツール
- パス上文字 (縦) ツール

D ペイントツール

- ブラシツール (B)
- 塗りブラシツール (Shift+B)
- メッシュツール (U)
- グラデーションツール (G)
- スポイトツール (I)
- ものさしツール
- ライブペイントツール (K)
- ライブペイント選択ツール (Shift+L)

E リシェイプツール

- 回転ツール (R)
- リフレクトツール (O)
- 拡大・縮小ツール (S)
- シアーツール
- リシェイプツール
- 幅ツール (Shift+W)
- ワープツール (Shift-R)
- うねりツール
- 収縮ツール
- 膨張ツール
- ひだツール
- クラウンツール
- リンクルツール
- 自由変形ツール (E)
- シェイプ形成ツール (Shift+M)
- ブレンドツール (W)

F シンボルツール

- シンボルスプレーツール (Shift+S)
- シンボルシフトツール
- シンボルスクリンツール
- シンボルリサイズツール
- シンボルスピンツール
- シンボルステインツール
- シンボルスクリンツール
- シンボルスタイルツール

G グラフツール

- 棒グラフツール (J)
- 積み上げ棒グラフツール
- 横向き棒グラフツール
- 横向き積み上げ棒グラフツール
- 折れ線グラフツール
- 階層グラフツール
- 散布図ツール
- 円グラフツール
- レーダーチャートツール

H スライス、切断ツール

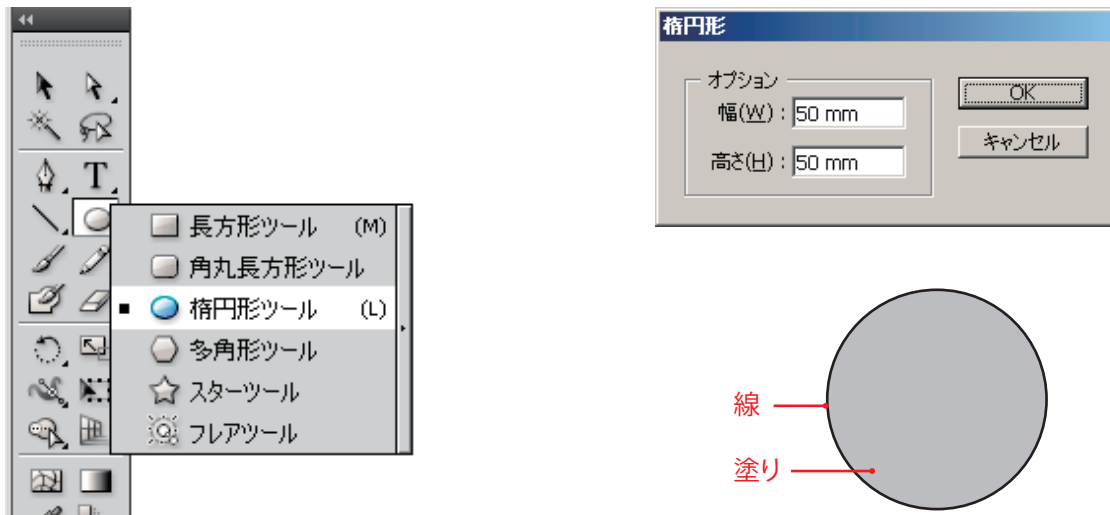
- スライスツール (Shift+K)
- スライス選択ツール
- 消しゴムツール (Shift+E)
- はさみツール (C)
- ナイフツール

I 移動、ズームツール

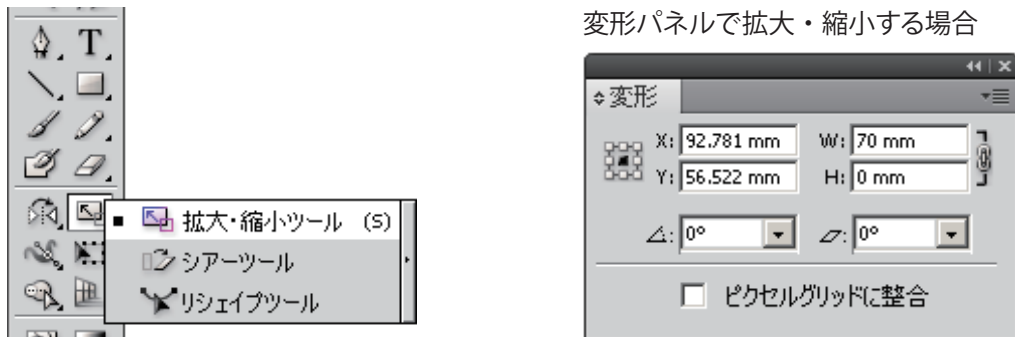
- 手のひらツール (H)
- プリント分割ツール
- ズームツール (Z)

基本図形の作成ツール

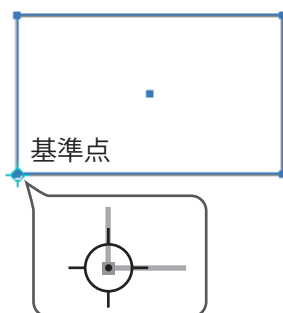
ペンツールでも作れるが、基本形状に関してはこちらを利用する。



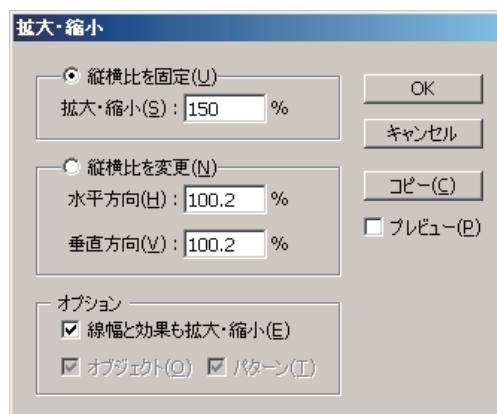
拡大・縮小は縦横比や線幅に注意



- ① **Alt** を押しながら
基準点となる位置をクリックして
拡大・縮小パネルを表示。

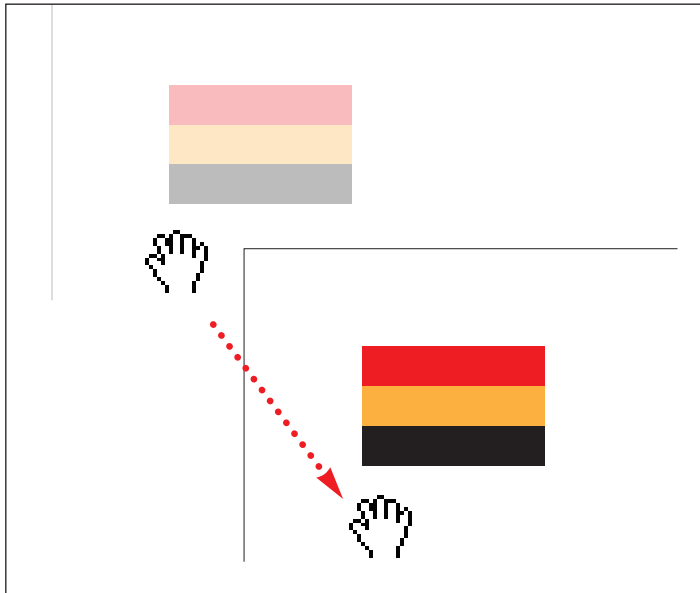



- ② 拡大・縮小パネルで数値を設定し、[OK]。




基本操作なので、ショートカットで覚えよう。

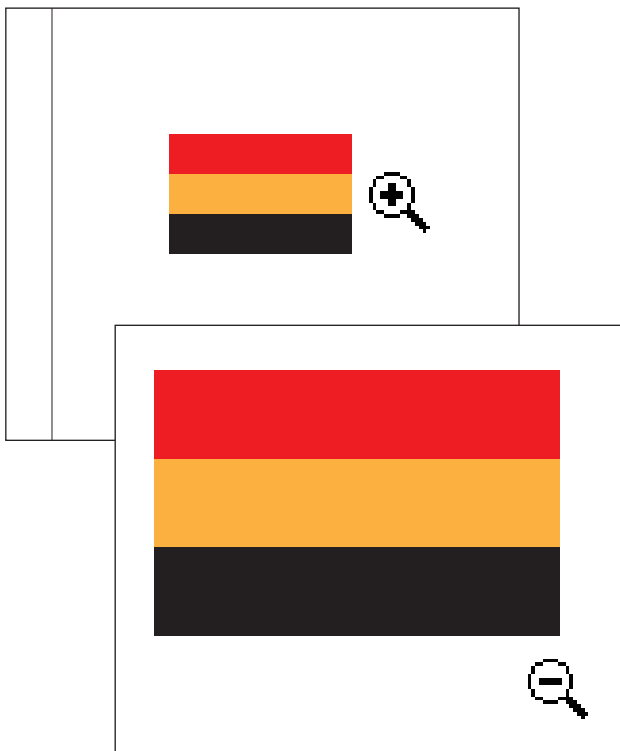
データを動かさず、拡大して見たり、移動して見たりすることができます。




[スペース] キーを押したままにして、ポインタを  に変えます。


 のポインタをイラストの近くに寄せて、作業しやすい画面の中央までドラッグします。

※テキスト入力中は切り替えできないので注意



Ctrl + [スペース] を押したままにして、ポインタを  に変えます。

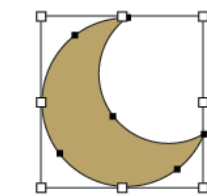
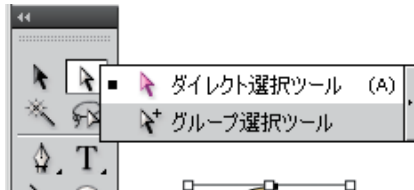
図形の上でクリックして、表示を拡大します。

大きすぎる場合は **Ctrl + Alt + [スペース]** を同時に押したままにして、ポインタを  に変えます。クリックして、表示を縮小します。

何事も、選択が肝心。

やりたいことを実現するには(例：色を変えたい、線を動かしたい)、ファイル中の「どれに」「何をさせたいか」を、ソフトウェアに示す必要がある。「自分が」、「何を選んでいるか」を常に確認すること。

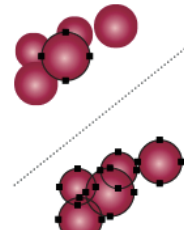
選択ツールの種類



選択ツールは
オブジェクト全体を選択



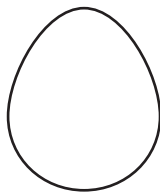
ダイレクト選択ツールは
オブジェクトのアンカー
ポイントやセグメントを選択



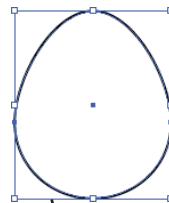
グループ選択ツールは
グループ内のオブジェクトや
グループを選択

選択ツールとダイレクト選択ツールの使い分け

作成した図形

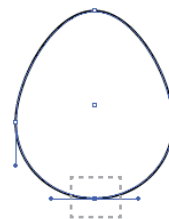


 で選択



バウンディングボックス

 で破線部を矩形選択



バウンディングボックス

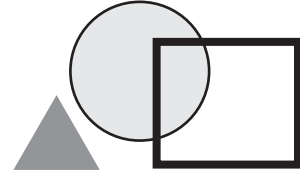
バウンディングボックスとは、オブジェクト選択時に表示される、オブジェクトを囲むボックスのこと。バウンディングボックスを利用して、オブジェクトを移動、回転、複製、拡大・縮小することができる。

塗りと線

ベクトルオブジェクトには、「塗り」と「線」の属性がある。

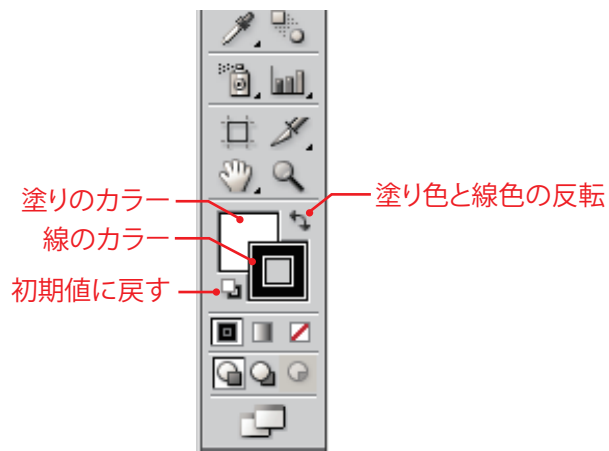
Illustrator は、「塗り」と「線」の属性を持つベクトルオブジェクトを扱う。

- ・塗り オブジェクトの内側
- ・線 オブジェクトを形作る「パス」と呼ばれる輪郭部分



ツールバーでの確認方法

右図の例では、塗りが白、線の色が黒。



カラーパネルでの確認方法

右図の例では、塗りなし、線の色が黒。



カラーパネルのカラーモードが異なる場合、パネルメニューをクリックして表示して、カラーモードを変更することが可能。



また、右図のような画面の場合には、パネルメニューから「オプションを表示」を選択して、オプションを表示させて作業を行う。

操作の取り消しとやり直し

- ・アンドゥ 直前に行った操作を取り消すこと。
ショートカットキー **Ctrl+Z** で実行できる(メニューでは、「編集」→「取り消し」)。
- ・リドゥ 取り消した操作をやり直すこと。
ショートカットキー **Shift+Ctrl+Z** で実行できる(「編集」→「やり直し」)。

作業ファイルを保存する

新「ファイル」→「保存」(ショートカットキー **Ctrl+S**)を選択。

線の太さを変更する

オプションバーまたは線パネルで設定を変更する。

線の種類を変更する

線パネルで設定を変更する。

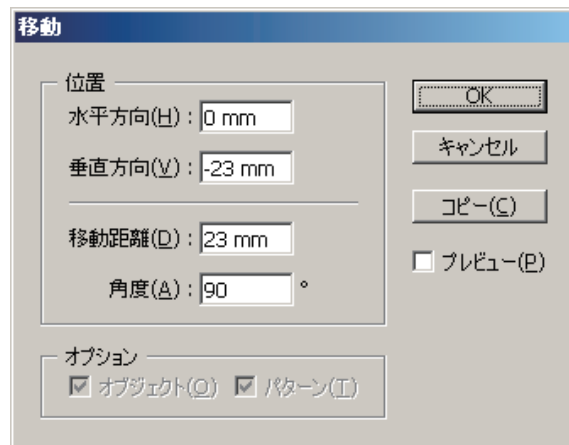


オブジェクトの移動・コピー

① 移動対象のオブジェクトを選択し、クリックする。

② 「移動」ダイアログボックスが開く。
移動量を指定し、[OK]をクリックする。

上記②で[OK]ではなく[コピー]をクリックすると、オブジェクトがコピーされる。



パスファインダー

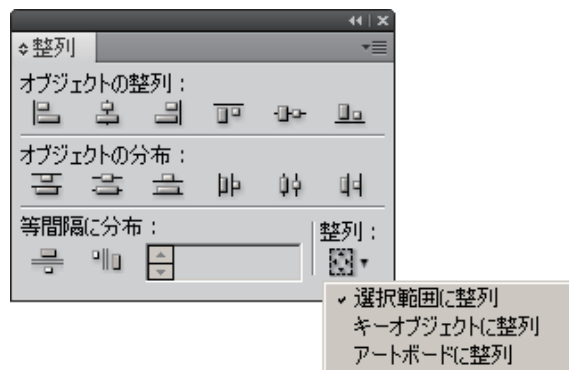
パスファインダーパネルには、「形状モード」と「パスファインダー」の2つのカテゴリがある。


ベクトルオブジェクトを組み合わせ、新たなシェイプを作成するのに利用する。



整列パネル

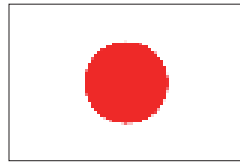
複数のオブジェクトを選択した状態で、指定したルールで整列させるのに利用する。選択ツールのオプションバーを利用しても整列は可能。



 のときは、アートボードに整列



モナコ



日本



ルーマニア



オランダ



イングランド



アラブ首長国連邦



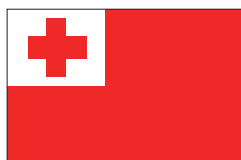
スウェーデン



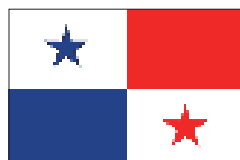
ベトナム



チェコ



トンガ



パナマ



アンティグア・バーブーダ

ショートカット一覧

[スペース]	画面の移動
Ctrl+[スペース]	画面の拡大
Ctrl+Alt+[スペース]	画面の縮小
Ctrl+Z	やりなおし
Ctrl+]	前面へ移動
Ctrl+[背面へ移動
Ctrl+shift+]	最前面へ移動
Ctrl+shift+[最背面へ移動
Ctrl+G	グループ化
Ctrl+shift+G	グループ解除

Ctrl+C	コピー
Ctrl+X	カット
Ctrl+F	前面へペースト
Ctrl+B	背面へペースト
オブジェクトを移動中に Alt	移動後ペースト
Ctrl+D	くり返し
Ctrl+2	ロック
Ctrl+Alt+2	ロック解除
Ctrl+S	保存
Ctrl+shift+S	別名で保存

欧文書体

ABCabc

セリフ体

ABCabc

サンセリフ体

ABCabc

Myriad Pro - Regular

ABCabc

Myriad Pro - Italic

ABCabc

Myriad Pro - Bold

ABCabc

Myriad Pro - Bold Italic

ABCabc

Myriad Pro - Condensed

ABCabc

Myriad Pro - Condensed Italic

和文書体

春はあけぼの

明朝体

春はあけぼの

ゴシック体

春はあけぼの

小塚明朝 Pro - EL

春はあけぼの

小塚明朝 Pro - L

春はあけぼの

小塚明朝 Pro - R

春はあけぼの

小塚明朝 Pro - M

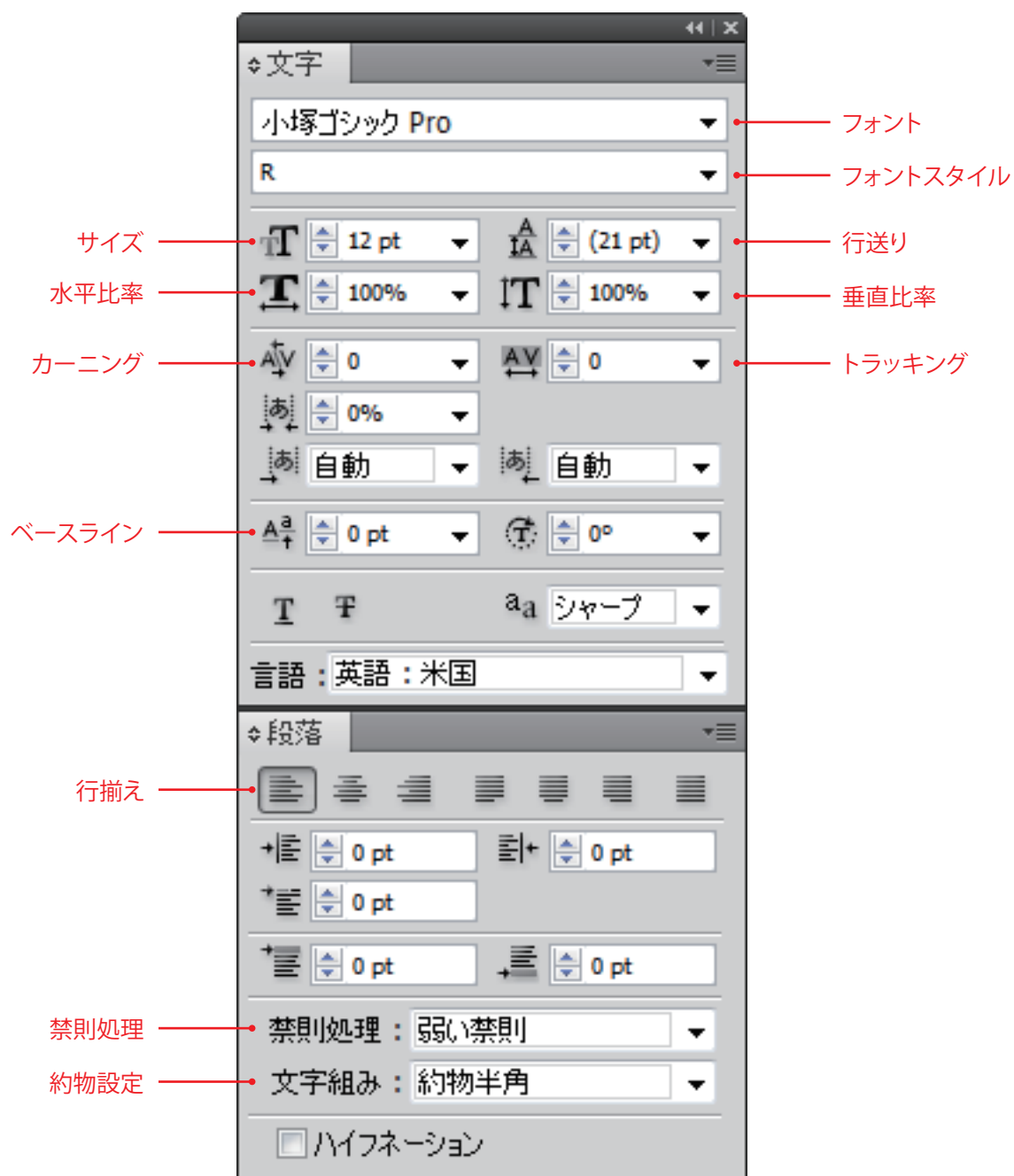
春はあけぼの

小塚明朝 Pro - B

春はあけぼの

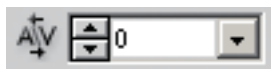
小塚明朝 Pro - H

文字の設定



カーニング

文字間にカーソルを置いて設定。



イラストレーター

トラッキング

文字列を選択して設定。



イラストレーター

文字の水平比率、垂直比率



水平比率

垂直比率

正体

春はあけぼの

長体

春はあけぼの

平体

春はあけぼの

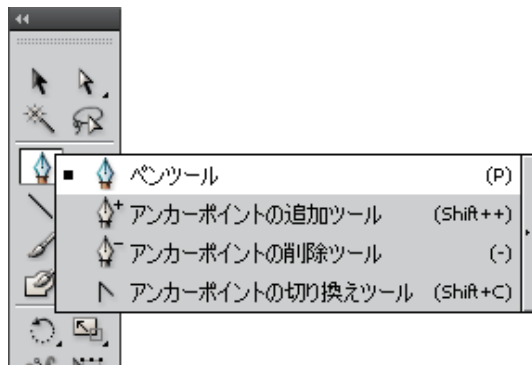
斜体

春はあけぼの

直線を描く

線を描くのに欠かせないのが、ペンツール。
ペンツールは、Illustrator の基本中の基本。

ペンツールの選択



ペンツールアイコンを長押しすると、サブメニューアイコンが表示される。

線パネル



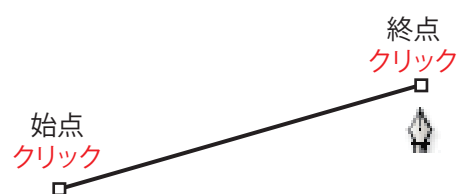
塗り・線の色設定

線を描くときは、塗りはなし。



=「塗り」なし

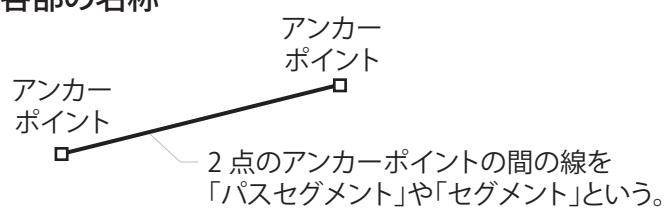
直線を描く



水平・垂直・斜め 45 度の直線を描く



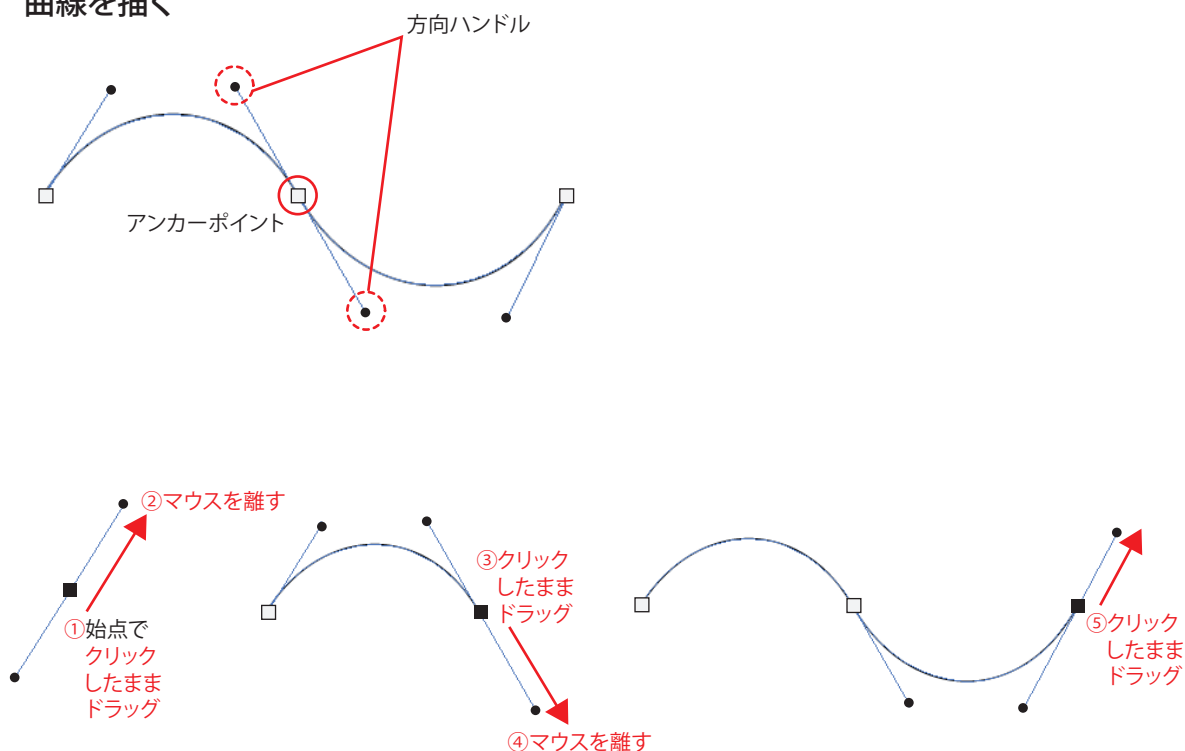
各部の名称



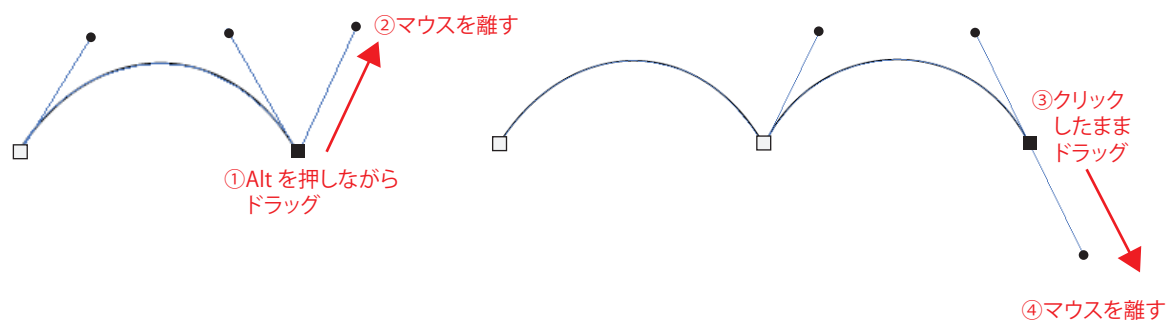
曲線を描く

曲線を描くときは、マウスのドラッグの方向も大事。
どの方向に線を描くのかよく考え、手に覚えさせる。

曲線を描く



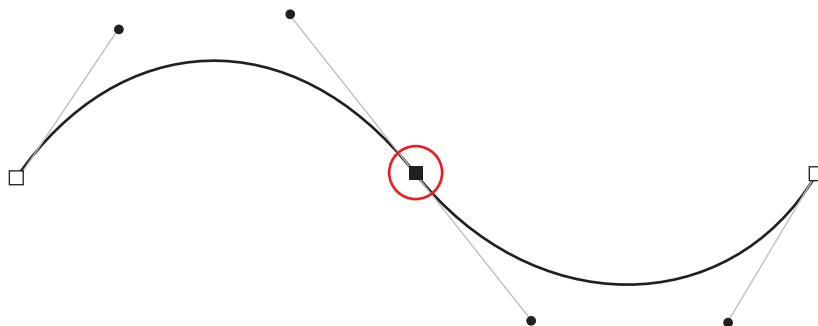
折り返し曲線を描く



スムーズポイントとコーナーポイント

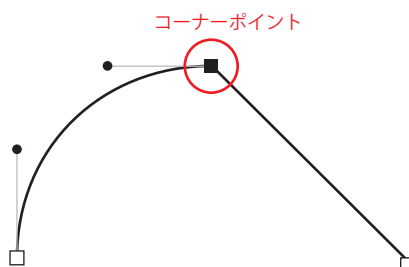
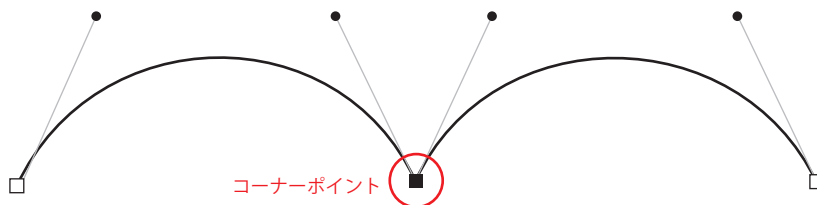
スムーズポイント

アンカーポイントから伸びる方向ハンドルが1本の直線状に伸びているポイント。
片方のハンドルを動かすと、もう一方のハンドルも連動する。



コーナーポイント

アンカーポイントから伸びる2本の方法ハンドルが、異なる角度に伸びているポイント。
それぞれのハンドルの動きは独立。アンカーポイントに方向ハンドルがない、もしくは1本の方法ハンドルしかないものもコーナーポイント。



演習 1：雲をトレースしてみよう

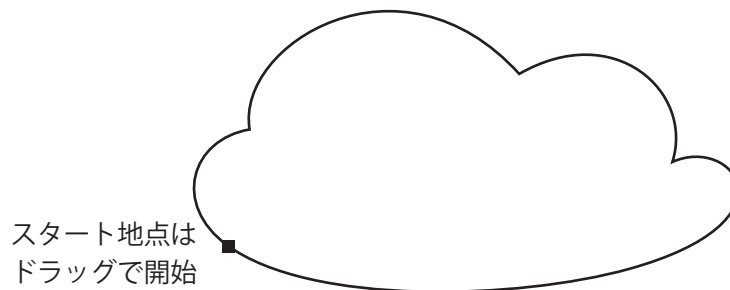
**トレースとは、下絵をなぞること。
パスを上手に操れると、仕事の幅が増える。**

写真の切り抜き作業、イラスト、トレース、様々なシーンでパスの精度は要求される。


雲をトレースしてみよう

黒線でトレースをする(塗りはなし)。線幅は 0.25pt を選択。

スムーズポイントとコーナーポイントを、うまく使い分けること。



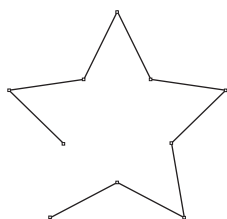
ポイント

- ・まずは、おおよその形状を作成する。微調整は後から行う。
- ・終了時、スタート地点のアンカーポイント部分で、マウскарソルが  に変わったのを確認してからクリックし、クローズドパスにすること。
- ・終点では、スムーズポイントになるよう、スタート地点の位置でドラッグしてハンドルを伸ばすことを忘れずに。

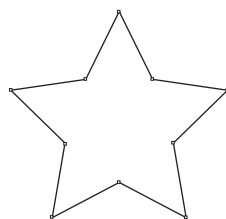
オープンパスとクローズドパス

オープンパス ……パスが閉じていない状態。

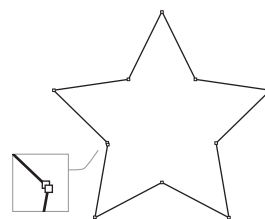
クローズドパス ……パスが閉じている状態。



オープンパス



クローズドパス



クローズドパスに見えるが
パスが閉じていない NG 例

トレースした線の調整

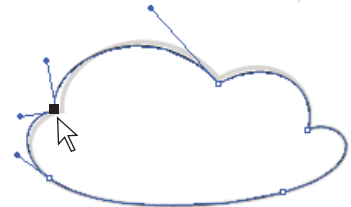
細かいところはダイレクト選択ツールに持ちかえて、調整する。

トレースをいろいろ練習し、繰り返して頭と手を連動させていこう。

編集例

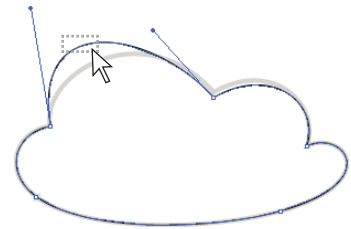
アンカーポイントの移動

ダイレクト選択ツールでアンカーポイントをクリックし、選択状態になったのを確認してから、ドラッグやカーソルキーで移動させる。



セグメントの調整

編集したい線をクリックし、編集状態になったのを確認して、ドラッグやカーソルキーで移動させる。曲線のカーブを調整したい場合には、セグメントを構成するアンカーポイントのハンドルの角度や長さをドラッグして調整する。




ハンドル位置の調整

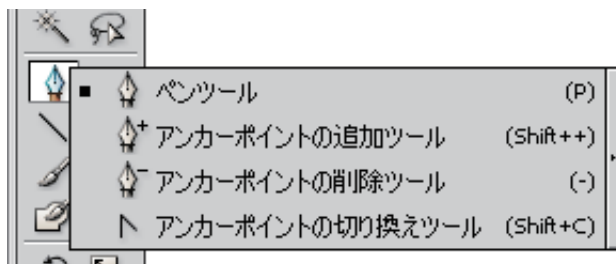
アンカーポイントやセグメントを選択して表示されたハンドルをドラッグして、位置を調整する。



余分なアンカーポイントの削除

ペンツールでアンカーポイントの近くにマウスカーソルをあわせ、 になったところでクリック。

ペンツールパネルコマンドを選んで操作することも可能。



演習 2：ハートを描いてみよう

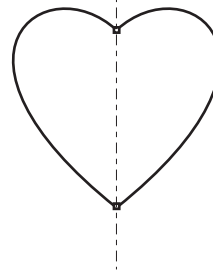
ペンツールの応用

ハートは線対称の図形。きれいな形を描くために、中心位置にガイドを作成する。

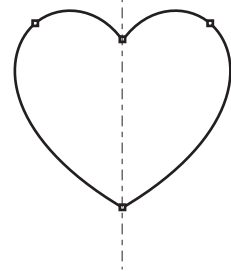
方法1：全てをペンツールで描く

- ① ガイドを作成する
 - ・ショートカットキー **Ctrl+R** でルーラーを表示。
 - ・左のルーラー上でクリックし、そのままハートの中心線まで水平方向にドラッグする。
- ② ペンツールで形を描く。線色は黒、塗りはなし。
- ③ パスを閉じる。

タイプ A



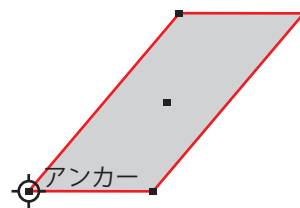
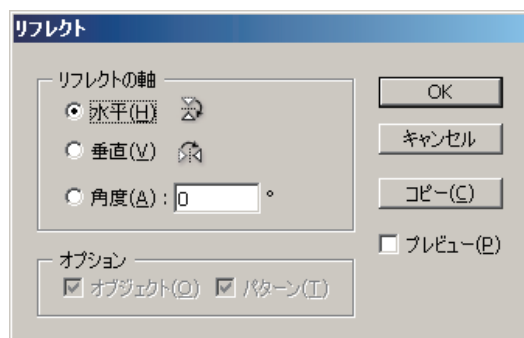
タイプ B



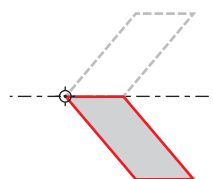
方法2：ペンツールで一部を描き、鏡像コピーする

上記②で、基準となる部分だけを描き、ガイドを基準線として鏡像を作成する。
以下はリフレクトツールの手順。

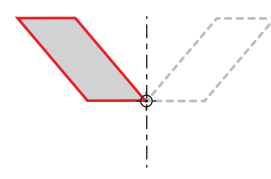
- ① 操作しやすくするため、スマートガイドを表示する。
「表示」→「ポイントにスナップ」のチェックをオンに設定し、「表示」→「スマートガイド」を選択する。
- ② リフレクトツールを選択。
- ③ **Alt** を押しながらアンカーポイントに合わせて基準点をクリックし、リフレクトパネルを表示。
- ④ リフレクトパネルで数値を設定。
[OK] をクリックすると、オブジェクトが反転。
[コピー] をクリックすると、オブジェクトの鏡像がコピーされる。



例)「水平」を選択。



例)「垂直」を選択。



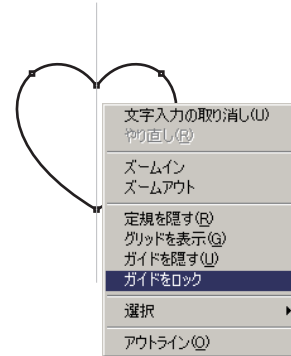
アンカーポイントの連結

オブジェクトを鏡像コピーしただけでは、オープンパスのまま。
重なっている点を連結し、クローズドパスにすること。
忘れると、その後の編集時の不具合の元になる。

アンカーポイント連結前に、ガイドをロック

ガイドが選択可能だと、連結が正しく出来ない。
ガイドがダイレクト選択ツールで選べないよう、ロックする。

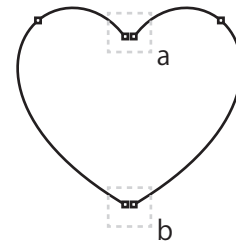
- ① 右クリックメニューで「ガイドをロック」の状態を確認。
- ② チェックがオフの場合、同メニューをクリックし、ガイドをロックする。



平均化

平均化を行い、同一位置に点が配置されるようにする。

- ① ダイレクト選択ツールでa部の2点を選択する。
- ② 右クリックメニューで「平均」を選択する。
- ③ 平均の方法から「2軸とも」を選択し、[OK]する。



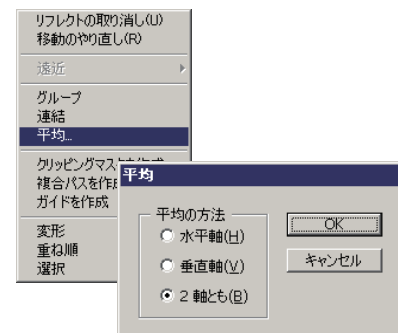
アンカーポイントの連結

同一位置に重なった点を連結し、ひとつの点にする。

- ④ ダイレクト選択ツールでa部の2点を選択されたままの状態、再び右クリックメニューを表示。
「連結」を選択。

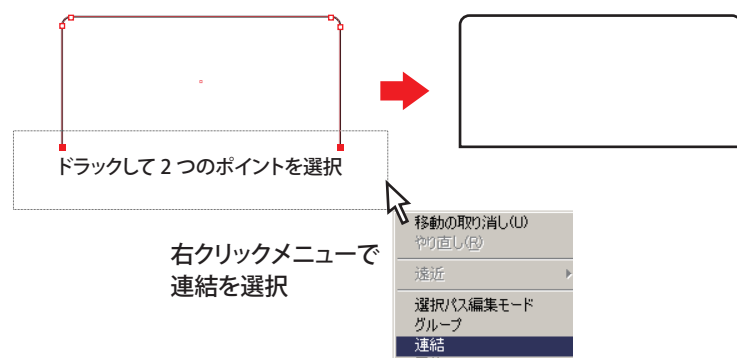
- ⑤ 2点が連結される。

b部に付いても同様の手順で、アンカーポイントの連結を行う。



参考：

連結は、このようなときにも
利用可能。



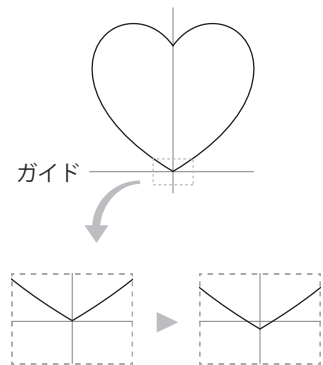
演習 3：ハートを元に、クローバーを作ってみよう

回転コピーの繰り返し

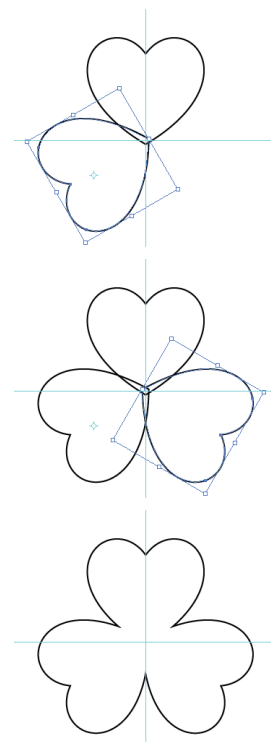
作成したハートを利用して回転コピーし、3つ葉のクローバーを作成する。



- ① ガイドを作成する。
回転中心を決めるため、ハート下部のアンカーポイント位置に水平方向にガイドを作成する。
- ② 作成したガイドをロックする。
「表示」→「ガイド」→「ガイドをロック」を選択して、ガイドをロックする(ショートカットキー **Alt + Ctrl + :**)。
- ③ ハートを下に移動させる。
 - ・ハートのオブジェクトを選択し、**Enter**。
 - ・「移動」ダイアログボックスで水平方向0、垂直方向に0.3mmを入力し、[OK]。
- ④ ハートを回転コピーさせる。
 - ・ハートのオブジェクトを選択したまま、回転ツールを選択。
 - ・回転中心を決めるため、**Alt**を押しながらガイドの交差点をクリック。
 - ・回転角度を120°と入力し、[コピー]をクリック。
ハートが1個回転コピーされる。
- ⑤ 回転コピーを繰り返す。
ショートカットキー **Ctrl + D**で、直前に行ったハートの移動(コピー)を繰り返す。
- ⑥ パスを合体し、クローバーにする。
 - ・選択ツールで全てのハートを選択する。
 - ・パスファインダーパネルで合体をクリックし、クローバー型を作成する。



注：このページの図は、重なりの様子をわかりやすくするため誇張している。

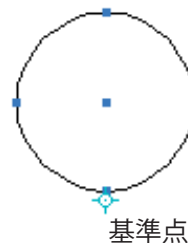


回転

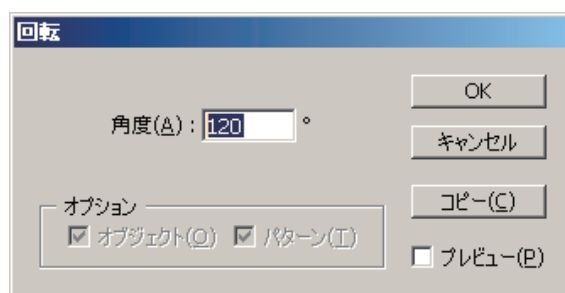
選択したオブジェクトを回転移動、または回転コピーする。



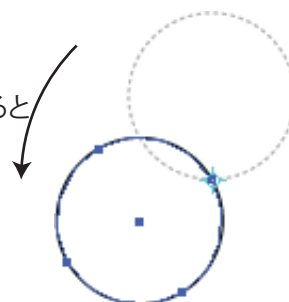
- ① **Alt** を押しながら
基準点をクリックして
回転パネルを出す



- ② 回転パネルで数値を設定



- ③ OK をクリックすると
オブジェクトが回転。
コピーをクリックすると
回転した位置に
コピーを作成。



移動の繰り返し


ショートカットキー **Ctrl+D** で、直前に行ったオブジェクトの移動(コピー)を繰り返す。

別の線を作成する

クリックしてつないでいた連続線を終わらせ、別の線を描くときは、次の操作を行う。

- ① **Ctrl** を押しながら画面をクリックし、今までの線を確定。
- ② 新しい線の始点をクリックして線を描く。

既存の線の続きを描く

- ① ペンツールを選択して端の点にマウスカースルを近づける。
- ② マウスカースルが  に変わったところでクリックし、
続きの点を打っていく。

セリフ体の文字をトレースしよう

規則的な図形であれば、ペンツールで1点1点打つよりも、四角形の展開と再利用で効率化。

まずは、**I**を基本に**L**を作る。



ILTFEHV
ZYNMWX

アウトライン表示

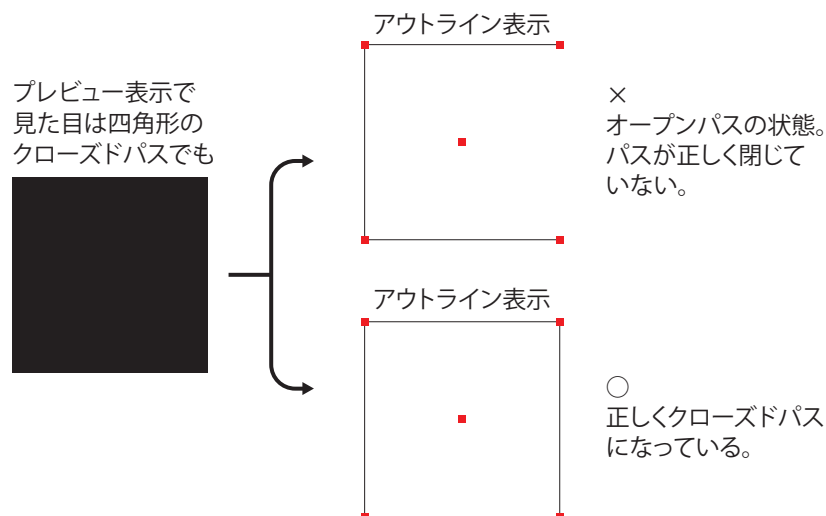
Illustratorには、プレビュー表示とアウトライン表示の2つの表示設定がある。
表示の切り替えは、ショートカットキー **Ctrl+Y**で行う。



現在の表示状態は、タブで確認が可能。

プレビュー表示 オブジェクトを塗りと線の色がついた状態で表示。

アウトライン表示 オブジェクトのパスで構成されるアウトライン(=輪郭)だけを表示。
 ・クローズドパスが正しく閉じているかどうかの確認ができる。
 ・複雑なアートワークを扱う場合でも再表示が高速に行われる。



演習 4：ロゴの作成

簡単なロゴを作成してみよう

アウトライン化したテキストオブジェクト「CLOVER」と、クローバー型を組み合わせ、ロゴを作成する。

- ① 文字ツールで「CLOVER」と入力。
文字をアウトライン化し、画像化する。
変換対象の文字を選択した状態で、
「書式」→「アウトラインを作成」を実行。

Myriad Pro Regular 110pt
カーニングあり

↓ 文字をアウトライン化

- ② グループ化を解除する。
右クリックメニュー「グループ解除」を実行
(ショートカットキー **Shift+Ctrl+G**)。
1 文字単位に分解される。

- ③ O をダブルクリックし、O を構成する
内側のオブジェクトを削除する。

- ④ その位置にクローバー型を配置する。
O の外側とクローバー型を選択し、
クローバー型が視覚的に中央に
くるよう位置調整する。

- ⑤ 前面オブジェクトで型抜きし、複合パス化。
パスファインダーパネルで
「前面オブジェクトで型抜き」を選択。

- ⑥ V を加工する。
ダイレクト選択ツールに切り替えて、
V の右の上辺のみを選択する。
V の斜辺の傾きをずらさないように
しながら、ドラッグして伸ばす。

- ⑦ ロゴをグループ化する。
ロゴを構成するオブジェクトを全選択し、
ショートカットキー **Ctrl+G** でグループ化。

コーポレートマークの例

基本形

パソコンレスキュー-24

コーポレートカラー

ロゴマーク 指定色



DIC 2553

C 80
M 20
Y 100

R 31
G 153
B 31

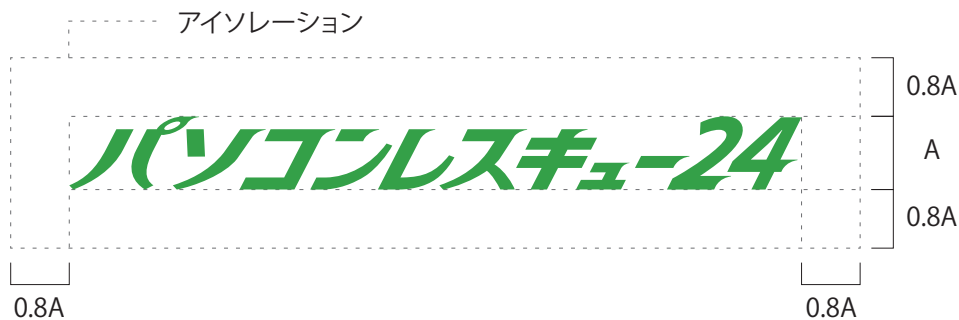
#1f991f

モノクロの場合

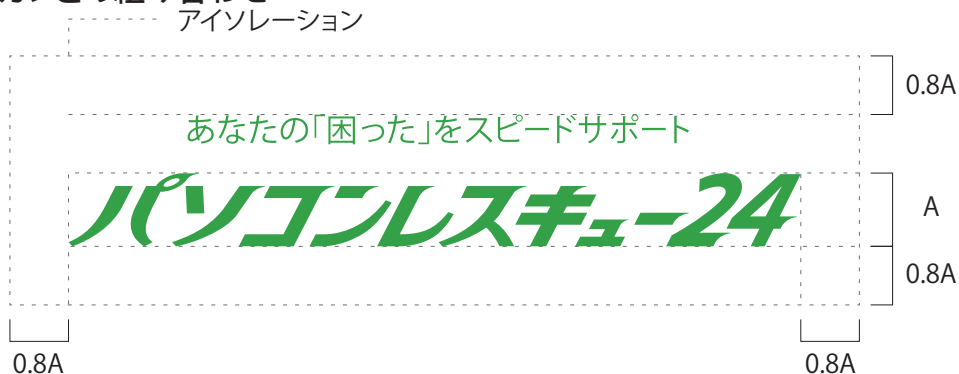
パソコンレスキュー-24

パソコンレスキュー-24

アイソレーション(不可侵領域)規定



スローガンとの組み合わせ



コーポレートマーク 禁止例

安易な行為でブランドの印象を変えてしまわないように。

パソコンレスキュー-24

縦横比変更の禁止

パソコンレスキュー-24

斜体の禁止

パソコンレスキュー-24

デザイン変更の禁止

パソコンレスキュー-24

コーポレートカラー変更の禁止



視認性を低下させる背景の禁止



視認性を低下させる背景の禁止

パソコンレスキュー-24

グラフィック要素付加の禁止 [影]

パソコンレスキュー-24

グラフィック要素付加の禁止 [フチ]



グラフィック要素付加の禁止 [フチ]



グラフィック要素付加の禁止 [他の図形]

あなたの「困った」をスピードサポート
パソコンレスキュー-24

スローガンの比率変更の禁止

あなたの「困った」をスピードサポート
パソコンレスキュー-24

スローガンの書体変更の禁止

コーポレートマーク 背景色による表示規程

